

年 頭 所 感

明 け ま し て

お め で と う ご ざ い ま す

地質調査所長 陶山淳治

昭和59年の年頭に当り 読者の皆様からの地質調査所の研究業務に対する常日頃の御理解・御協力に対して深く感謝いたします。

当所は明治15年創立以来 地質および地下資源に関する総合的調査研究機関として 一貫して その業務の遂行に務めて参りました。この間の先輩各位の御苦勞・御努力に深く敬意を表するとともに 関係各位の変らぬ御支援・御便達に厚く感謝するものであります。

今年は昨年にも増して厳しい環境下で新しい年を迎えることになりました。

第1次石油危機から10年がたちましたが 世界は依然として深刻な経済の長期停滞から脱することができず 世界経済の活性化のための国際協調による新たな努力がわが国に対しても要求されつつあります。

このような情勢の下で わが国が資源エネルギー確保に対する脆弱性を克服しつつ 安定した経済発展の基盤を確固たるものとし 国民福祉の質的向上とゆりのある社会の実現を図るとともに 世界経済の活性化に積極的に貢献してゆくための諸施策の実現が重要な課題となっております。ところで これら諸課題の遂行にあたって 科学技術の分野が果す役割はますます重要になりつつあります。

そのため 近年 当所に対する社会的要請は増大するとともに多様化しており 従来の地質 鉱物資源に関する研究業務に加え 地熱資源 地震予知 海域の地質と鉱物資源 公害防止等に関する 研究業務に対する比重が増しつつあります。

当所としては これら要請に積極的に対応しつつ 効率的な研究業務の推進を図っていくため 昭和59年度には次のような重点分野について一段の努力を重ねて参る所存であります。

- 1 我が国の国土及び周辺海域の地球化学的実態の解明
地下資源の探査 国土の開発・保全に重要な基礎資料



陶 山 淳 治 所 長

となる各種地質図の作成（とくに国土の基本図としての5万分の1地質図幅・周辺海域の海底地質図・空中磁気図の作成等）

2 エネルギー・鉱物資源の探査と評価

新エネルギー資源としての地熱資源 および深部鉱物資源のポテンシャル評価 エネルギー・鉱物資源の探査と評価のための最新のハードおよびソフトテクノロジーの導入と新手法の開発

3 国土の環境保全 自然災害の予知・防止

地震予知 火山噴火予知 公害防止等の技術の開発 地盤沈下 発電所立地等に関する地盤の評価技術の開発

4 国際研究協力・技術協力

国際研究協力・技術協力の一層の推進

また 将来の研究開発のシーズの育成 並びに研究開発の水準の向上を図るための目的基礎研究の充実に努めていく考えております。今後とも 研究業務の一層の発展を図り 国民福祉の質的向上 国際的責務の分担等に貢献すべく 所員一同心を新たにして今後共努力を続けてまいります。

本地質ニュースの読者の皆様の一層の御支援・御協力を御願い申し上げて 年頭の挨拶と致します。